

お客さまにとっての「見やすく、使いやすく、わかりやすい」冊子づくりをめざしたディスクロージャー資料『明治安田生命の現況2007』の発行について

弊社では、ディスクロージャー資料『明治安田生命の現況2007』において、「見やすく、使いやすく、わかりやすい」冊子づくりをめざし、記載文字を拡大するほか、色覚を問わずできるだけ多くの方に見やすいように配慮しカラーユニバーサルデザインを採用するなど大幅な改訂を実施しました。

『明治安田生命の現況2007』の主な改訂点

1. 記載文字の拡大

読みやすさの観点から、本文記載文字の大きさを、昨年度発行版（約9P）に比べ、約1.3倍（約12P）の大きさとしました。

2. 索引、用語解説の充実

五十音索引における索引数を、昨年度発行版の約1.4倍（226索引項目）に増やしました。また、お客さまの視点から、わかりにくい専門用語などについて、欄外に用語解説を設けるなど、冊子を使いやすくしています。

3. 保険業界ではじめて、カラーユニバーサルデザインを採用

色覚の個人差を問わずできるだけ多くの方に見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮して制作し、保険業界ではじめて、NPO 法人 Color Universal Design Organization（カラーユニバーサルデザイン機構）、略称 CUDO（クドー）の認定を受け、これを示すマークを裏表紙に掲載しています。

4. その他

挟み込みのアンケートはがきは、シーリングにより個人情報の保護を図っています。

なお、『明治安田生命の現況2007』の制作にあたっては、アンケートなどでいただいた「お客さまの声」を踏まえ、「見やすく、使いやすく、わかりやすい」ものになるよう工夫をしていますが、今後も、お客さま・一般消費者・ファイナンシャルプランナーの方々へのアンケート、インタビューを実施し、さらに内容を充実していく予定です。